



作家
元国際線乗務員
黒木安馬

【プロフィール】高校時に米国留学後、早稲田大学を経てJAL国際線客室乗務員として30年勤務。世界初の「カラオケ・フライト」や「1万メートル上空・北島三郎機上コンサート」などを実現させる。千葉の自宅は1300坪の山林を開墾してプール、テニスコート、コンサートホール等を手作りする。現在、(株)日本成功学会社長として自己啓発や社員教育で講演中。著書に「ファーストクラスの心配り」、「あなたの人格以上は売れない!」(プレジデント社)、「成「幸」学」(講談社)、「出過ぎる杭は打ちにくい!」(サンマーク出版)、「面白くなくちゃ人生じゃない!」(ロングセラーズ)、「小説・球磨川」(上下巻・ワニブックス)などがある。
E-mail:yasuma@myad.jp URL:http://www.7b.biglobe.ne.jp/~sanpercent-club/

21世紀だ！———人生・農業リセット再出発 204

奇人オタクに使われる時代

驚いた！ インドで5歳の子どもたちが、「 $47 \times 29 = ?$ 」などの2ケタ掛け算に暗算でパッと答える。マイクロソフト、ノキア、コーラ、グーグル、ドイツ銀行、ボーダフォンや孫正義のソフトバンク……世界を動かす企業のトップはインド人なのだ。米国科学者の12%、医師38%、NASA36%の技師はインド人。マイクロソフト社員34%、IBM28%、インテル17%、ゼロックス13%。ハーバードビジネススクール学長も、初の女性サウスカロライナ州知事、国連大使のニッキ・ヘイリーなど先進国ではインド勢が大活躍中だ。

インドは、仏教や哲学、ヨガ、数字ゼロ発見のインダス文明の発祥地。紀元前6世紀のヴェーダ数学と長い英国植民地で英語が公用語は最強の才能と武器である。英語も不得手な日本人、「ハーバード入学の日本人は1人、国内安定志向で海外雄飛が薄れた日本人は草食動物国に衰退」と、ワシントンポストは記事にした。世界の最高峰大学もインド人留学生は最多である。

地球人口74億5,000万人、1分に137人、1日20万人、1年で日本人口と同じ1億3,000万人が産まれる。中国とインドはほぼ同数の14億人、3位米国3億2,300万人。日本は世界10位で1億2,690万人とロシアと変わらない。中国人とインド人だけで世界の4割を占める。インド人口急増は中国を追い抜く。東京都1,300万人だけでも、ギリシャ、チェコ、ポルトガル、スウェーデン、イスラエル、スイスなど一国よりも多い。

日本人口10倍以上のインドの人々は3300年続くバラモン教の枠組みのカースト制度で分別される。サンフランシスコ南部シリコンバレーのハイテク産業地域にあるアップル、グーグル、フェイスブックなど本社の中核はインド人だから、カーストの伝統を消し去り難い彼ら向けの新しいビジネス「弁当配達サービス」が人気である。下位カー

スト者が作った料理を食べるのに抵抗がある習慣のため、自宅で家族が調理した昼食を勤務先へ届けるビジネスが「ダッバーワラー」だ。この職業はインド本国では100年の歴史を持つ高度に組織化された伝統的ビジネス。自転車に大量に重ねた金属製弁当箱を積んで配達し、毎日18万個の弁当箱が利用客の自宅とオフィスの間を行き来している。台風だろうが毎日欠かさず5,000人のダッバーワラーが、配達間違いは600万個にわずか1つしか起こさない正確さで顧客の昼食時に合わせて確実に職場に届けている。労働はかなり低賃金だが、読み書きができない者が多く、弁当箱に小さく塗られた色と数字だけで受取人を識別している。最先端ハイテクのオフィスへ、超ローテクの慣習と伝統の人海戦術配達。時代は変わっても、無機的機械のHI-TECHと、有機的人肌の触れ合うHI-TOUCHは共存している。

ビル・ゲイツは言う。
「ギーク(GEEK・特定分野に卓越した知識を持つ奇人・オタク)には親切にしておきなさい、彼らの下で働かなくてはいけない可能性はこれからどんどん高くなる、これからロボットやオートメーション化が進む中では、ひとつのことに夢中になり技を究めているオタクが平均的になんでもできる人よりも重宝されて大物になる時代だ」

アジアモンスーン地帯は、欧州や米国などの畑作と違い、水田米作が主流だ。コメの生産量は、中国、インド、インドシナなどアジア諸国で世界シェアの9割を占め、そこには地球人の60%が住んでいる。扶養できるだけの人口支持力が高いのは安定した食糧があるからだ。

インドの平均年齢は日本の45歳より20も若い25歳。若さは爆発エネルギー、インドが米中と並ぶGDP3強で世界のリーダーシップを執る日がすぐそこに来ている。